

千年の森便り No.202

2020.5.22

ちば千年の森をつくる会

<http://toyofusajima.html.xdomain.jp/>

代表 坂本文雄 編集 真鍋昌義

sennennomori@hotmail.co.jp

活動の記録

5月9日(土)曇

個人活動として坂本一人島へ入りました。単独行動の為、安全な千年広場周辺の平坦地しか歩きませんでした。目ぼしい花は見当たりませんでした。

期待したエビネも大部分は咲き終わり、遅咲きの株に名残花が見られたただけでした。島内では30分程過ぎて、あとは農地での作業に時間を費やしました。(以下坂本)



エビネの名残花



ツチアケビ



ヤマザクラ



クロモジ

オトビの雛

親鳥が留守の際に巣の中を覗いたところ、雛が動いているのが見えました。恐らく3羽いると思うのですが、うすくまっついてははっきり確認できませんでした。

その他の野鳥ではヤマガラやオオルリの声が盛んで、オオルリの声もしていました。オオルリの声を島内で聞いたのは初めてです。



カンアオイの葉は色々

カンアオイの葉は株ごとに変化に富み、別種のように見えるのですが、全て同一種で単なる個体差だそうです。葉の様子はカンアオイ同士の生存競争に優劣の差を生じないので、このような結果になったのでしょう。観葉植物であれば、それらしい品種名が付くものと思います。当日見たものに勝手な名前を付けて見ました。



無垢 緑一色



一文字 中央に白線一本



雲斑 濃淡の斑入り



細網目 密な編み目模様



荒網目 荒い網目模様

○ジャガイモも絶望的

先月はそこそこに茂っていたジャガイモの葉が丸坊主になっていました。シカの食害によるものと思います。やはり、防除網などで囲わなくては駄目の様です。

セイタカアワダチソウは厄介な雑草として嫌われ者ですが、先端の柔らかい部分が刈り取られたようになっていました。雑草だけ食べてくれるならシカも歓迎です。

○フキを移植

農地北側の土手に野生のフキが茂っていますこれを掘り取って一畝に移植してみました。うまく根付いて繁茂すれば早春には落の薑、初夏は茎が食べられるでしょう。今まではマムシの棲家になるのを恐れて植えていませんでしたが他に適当な作物が思い浮かばないので、背に腹は代えられず植えました。



セイタカアワダチソウの食害



ジャガイモ食害



フキ植え1列

5月17日(日)晴

秋元、苅米、坂本の3名で臨時活動しました。

朝の挨拶もそこそこに秋元さんは島内でトビと植物の調査、苅米さんは新型の草刈機で農地周辺の除草、坂本は農地での畝作りと植え付けに分散しての活動でしたから三密とはなっていません。

この日の日中は気温が急上昇し真夏並みの暑さでしたから農地での作業は汗だく、熱中症にならないよう、午後2時前には作業を切り上げました。(坂本)

○新型草刈機の威力

苅米さんが持ち込んだ草刈機は自走式で斜面にも対応できる優れものでした。機械の威力と汗だくの作業のお陰様で気になっていた農地周辺は除草がすすみ、随分スッキリしました。大変お疲れ様でした。

刈られた草は細断されているので足元の邪魔にならないのも利点です。適度に乾燥したところを見計らってかき集めれば良いマルチ材に利用できるのですが、月の一度の活動では、それが出来ません。勿体ないと思いました。

○植え付け作業

島へ向かう途中で、直売所に立ち寄った所、里芋(ヤツガシラの種芋)とミニトマトの苗が目に入ったので入手しました。里芋はシカの食害を免れた実績があるので安心して新規に一畝植えました。

ミニトマトはシカ以外にハクビシンなどの獣害の恐れがある上、湿地には向かないので危険度が高いのは覚悟の上です。せめて水はけだけは良くしてやりたいと思い、土を盛り上げた頂上に植えました。支柱を立てたり、脇芽を掻取る様な手入れはせず、四方八方に枝を這わせる放任作戦です。うまくすれば8月に喉の渇きを癒してくれるかもしれません。(坂本)



新型草刈り機



トマト苗植え付け

ひとり、島に入りました

新型コロナウイルス感染症対策で活動自粛が実施されていますが、地の利を生かし自由活動で島に入りました。坂本さん、苅米さんとは農場の駐車スペースで別れ一人島に入りました。島に入れない会員のためにも出来るだけ気になるものを写真に納めようと心掛けました。

島内は昨年の台風の影響で、倒木・枝の落下等があり空が開けて、とても明るく感じました。鳥たちの囁きもあり、気持ちの良い観察活動ができました。(以下秋元)



新緑の豊英島、紺碧の空

〇ツチアケビの観察記録

- ・千年広場南に5株、内1株が金網に触れ曲がっていました。株は健全で、丈は7-33cm。
- ・吊橋終端の西側に1株、株は健全な状態で、丈は34cmでした。金網を広場脇の資材置き場から持ってきて、杭は古びた竹で簡易に設置しましたので次回やり替えた方が良さそうです。
- ・ヒメコマツ保護柵内 朽ちた伐採木の脇に前年の枯れた株がありましたが今年の発芽はありません。その他のマダケ林、巨木林保護柵内などには見当たりません。



千年広場南に5株



吊り橋終端西側に1株

〇鳥の観察記録

- ・トビの雛 巣に近づくと、親鳥はすぐに飛び去りました。写真に納められませんでした。

目視で巣を観察しましたが、3羽のように見えたが、写真判定で2羽です。

卵は3個でしたので1羽の消息が不明です

・カワウ

豊英ダム減勢工の上とホテイ岬の湖面にカワウがいました。



○植物の観察記録



ヤマボウシ



マルバウツギ



トベラ



コバノガズミ



エゴノキ



ホオノキ



シラン



イチヤクソウの蕾



ホテイチクの筍



ジャングル化したギャップ林